

2024年3月7日
産業技術短期大学校長 酒井雄一
(担当：竹内 029-269-5500)
産業人材育成課長 鈴木貴裕
(担当：皆川 029-301-3653)

県立産業技術短期大学校（IT短大）における情報漏洩について（続報）

2月21日に資料提供した情報漏洩事案を踏まえ、再発防止に向け、短大校の職員・学生への聞き取り調査及び情報管理状況の点検を進めていたところ、下記の事案を確認しました。

なお、今後このような事案が起こらないよう、対策を徹底してまいります。

1 事案確認日

2024年2月26日（月）、29日（木）

2 事案の概要

(1) 学生管理情報のデータファイルの漏洩（発生時期：2023年4月）

職員（会計年度職員）が、「学生管理情報データファイル」【注】を在学生が閲覧可能な共有フォルダ内に誤って保存し、在学生数人が閲覧したものを。

【注】氏名、顔写真、出身高校、居住地（市町村まで）、就職先、資格取得情報が記載されたデータベース（776名分）

※閲覧した当該学生からの申し出により発覚し、同日中に共有フォルダ内のファイルを確認の上、削除した。

※短大校外への情報流出による実害は確認されていない。

※事案発覚まで利用していた共有フォルダはすべて封鎖し、従前に作成したファイルの漏洩の可能性を根絶した。現在、新たに共有フォルダの構築中。

(2) 学生の履歴書等の漏洩（発生時期：2022年4月～2023年5月）

職員が、下記の学生の個人情報（延べ218名分）について、他の学生にも閲覧できる状態にしたもの。

- ・新型コロナ感染症流行時における、学生の体温データ（個人情報の認識の誤り）[30名分]、学生の体温記録用紙（個人情報の認識の誤り）[177名分]
- ・就職試験に向け添削中の、学生の履歴書（PCの操作誤り）[2名分]
- ・学生の資格試験（基本情報技術者試験等）の合否・得点（アンケートフォームの設定誤り）[8名分]
- ・学生が休暇を取得する際に添付した、病院の領収書（紙資料の取扱い誤り）[1名分]

※学生からの申し出により発覚し、その場で設定変更するなどの対応を行った。また、当該学生に対して謝罪した。

※短大校外への情報流出による実害は確認されていない。

3 今後の対応

【情報が漏洩した学生への謝罪】

- ・ 学生管理情報データファイル及び体温の一覧表に記載された学生へ謝罪文を送付するとともに、個々の求めに応じて対面・電話により状況の説明及び謝罪。

【再発防止の徹底】

- ・ 職員が業務上取り扱う個人情報の管理状況を総点検し、適正管理を徹底。

【職員への対応】

- ・ 産業戦略部長から、対象職員（学校長、教務課長、庶務課長、個人情報を漏洩した当該職員）を厳重に注意。なお、処分の判断は総務部と協議中。